



## 交 読 文

### ヨハネ黙示録 第 21 章

司) また私は、新しい天と新しい地を見た。先の天と先の地は過ぎ去り、もはや海はなくなった。

会) 私たちは、新しくされる神の御業を仰ぎ見ます。すべてを新しくされる主をほめたたえます。

司) また私は、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから天から下って来るのを見た。

会) 主よ、あなたが備えられた都を待ち望みます。あなたのご計画は、すでに完成へと向かっています。

司) そのとき私は、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。」

会) 神は、私たちとともに住んでくださる。私たちは神の民とされ、神ご自身がともにおられる。

司) 神は、彼らの目から涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが、過ぎ去ったからである。

会) 主よ、あなたはすべての痛みを終わらせてくださいます。あなたの慰めを、今、信仰をもって受け取ります。

司) すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしは、すべてを新しくする。」

会) 主よ、あなたは新しくされるお方。過去を越えて、未来へと

私たちを導かれます。

司) また言われた。「これらのことばは、信頼でき、まことである。」

会) 私たちは、あなたのみことばを信じます。主の約束は必ず成就します。

司) わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。

会) 始められた主が、必ず完成してくださいます。私たちの時は、主の御手の中にあります。

司) 渇く者にはいのちの水の泉から、価なしに飲ませよう。

会) 主よ、あなたこそ、私たちのいのち。あなたにあって私たちは満たされます。

司) これらのことを証しする方が言われる。しかり、わたしはすぐに来る。

会) アーメン。主イエスよ、来てください。

一同) 主イエス・キリストの恵みが、すべての者とともにありますように。アーメン。

「神の計画の中を歩む教会」あなたがたのために立てている計画を、わたしはよく知っている。(エレミヤ 29:11)

### 2026 年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども・若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者・次世代リーダーが起こされるように

週報 2025-53 号

2025.12.31

## 2025・2026 送迎礼拝

神の計画の中を歩む教会

宗教法人 イエス・キリスト

# 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

## 2025 - 2026 送迎礼拝

PM 11:00~

司会 柳澄香

開会賛美

聖書 詩編 90:1-4

賛美 今日まで守られ

交読文 ヨハネ黙示録 第21章

代表祈禱 鈴木真由美

特別賛美 教会賛美チーム

聖書箇所 マタイ 6:33、エレミヤ書 29:11

(神の国を第一に求め、神の計画の中を歩む教会)

メッセージ 柳承吉牧師

献金祈禱

新年祈禱題目の為の祈り

祈禱カード作成

祝福の祈り

祝 禱 柳 承吉牧師

【主】があなたを祝福し、あなたを守られますように。

【主】が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

【主】が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

「感謝で送り、希望で迎えましょう」  
(神の国を第一に求め、神のご計画の中を歩む教会)  
マタイの福音書 6:33, エレミヤ書 29:11

今夜、私たちは特別な「時の門口」に立っています。一年を送り、一年を迎える送迎礼拝の夜です。この時間は、ただ年が変わる瞬間ではありません。神の御前に静かに立ち、この一年を振り返り、そして新しい一年を、再び神の御手にお委ねする霊的にきわめて大切な時間です。

2025年は、どのような一年だったのでしょうか。ある方にとっては、感謝があふれた一年。またある方にとっては、涙と忍耐の中で、一日一日を必死に歩んだ一年だったかもしれません。しかし、私たちが今、この礼拝の場に立っていること自体が、神の恵みです。

今夜、私たちがもう一つ握りしめるみ言葉は、エレミヤ書 29:11「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている【主】のことば。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」このみ言葉は、すべてが順調な時に語られたものではありません。捕囚の地で、先が見えず、絶望の中にいた民に与えられた約束です。

神は、私たちの2025年をすでにご存じでした。予期せぬ出来事も、涙の夜も、神にとっては想定外ではありませんでした。それでも神は語られます。「そのすべての中で、わたしはあなたへの計画を手放さなかった」これが恵みです。これが、私たちが希望を失わない理由です。

一年を振り返ると、足りなかった場面、うまくいかなかった瞬間のほうが多く思い出されるかもしれません。しかし、振り返ると、神は礼拝の中で、私たちを支えてくだ

さいました。祈りの中で、私たちを回復させてくださいました。共同体を通して、互いに慰め合う道を与えてくださいました。次世代を通して、未来の希望を見せてくださいました。目立たなかっただけで、神が働かれなかった時は一度もありませんでした。2025年、教会に与えられたみ言葉は、「まず神の国と神の義を求めなさい」(マタイ 6:33)でした。教会は、「何を成し遂げるか」よりも「何を第一に求めるか」を選びながら歩んできました。

一年を振り返ると華やかではありませんでした。しかし、そこには礼拝があり、祈りがあり、次世代が育ち、福音が語られていました。神の国を第一に求める歩みは、静かに、しかし確かに積み重ねられてきました。私たちはこう告白できます。「主よ、この一年をここまで導いてくださったことを感謝します」これこそが、送迎の夜にふさわしい告白です。

私たちは今、2026年を迎えます。未来は不確かでも、神は確かなお方です。2026年の教会の目標は、「神のご計画の中を歩む教会」。私たちは心をつにして決断します。不平ではなく、感謝を選びます。恐れではなく、信仰を選びます。焦りではなく、神の時を信頼します。

そして告白します。「主よ、2026年の道を、私が知っていることよりも、主がすでにご存じであること、それで十分です」2025年は、神の恵みで十分でした。2026年は、すでに神のご計画の中で備えられています。

感謝で一年を送り、希望で新しい年を迎えましょう。始めてくださった神が、必ず完成してくださいます。

主イエス・キリストの御名によって、皆さまの家庭と人生の上に、恵みと平安と希望が豊かに満ちあふれますように。アーメン。